

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	機能品	樹脂・化成品	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	11,901	64,322	20,119	19,837	116,179	—	116,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,365	7,122	219	△4,243	6,463	△6,463	—
計	15,266	71,444	20,338	15,594	122,642	△6,463	116,179
セグメント利益 (営業利益)	2,817	1,898	354	650	5,719	△1,364	4,355

(注1) 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△1,364百万円には、セグメント間取引消去△93百万円、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用△1,271百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	機能品	樹脂・化成品	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	12,044	55,728	20,536	20,912	109,220	—	109,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,763	4,584	49	△1,978	6,418	△6,418	—
計	15,807	60,312	20,585	18,934	115,638	△6,418	109,220
セグメント利益又は 損失(△)(営業利 益又は損失(△))	3,037	△1,579	886	890	3,234	△612	2,622

(注1) 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△612百万円には、セグメント間取引消去230百万円、各報告セグメントに配分していない  
 全社費用△842百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。